



鈴鹿の風

2013.1

第17号

ごあいさつ 新外来診療棟完成
院長 小長谷 正明

新外来診療棟のご紹介

心不全との付き合い方
地域医療連携室だより

トピックス

Information

職員の輪 (職員紹介)

平成オタクコラム プロ野球編⑨



病院理念

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。

ごあいさつ 新外来診療棟完成

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院長 小長谷 正明



平成24年11月23日、勤労感謝の日、国立病院機構本部より稲垣裕志理事、東海北陸ブロックより柳沢武統括総務部長、さらには名古屋大学名誉教授祖父江逸郎先生をはじめ4数の来賓を迎え、外来診療棟の完成式典を行いました。それはとりもなおさず、平成22年2月の中央病棟完成に引き続き、新しい鈴鹿病院への脱皮と飛翔への羽ばたきに外なりません。

当鈴鹿病院は、昭和18年の亀山陸軍病院としての創立から、来年で70年になります。筋ジストロフィーや神経難病、重症心身障害など、医療を要する障害者のセーフティネットとしての政策医療を行って参りました。しかし、医療の進歩はまさに日進月歩であり、そのための機器や考え方もどんどんと進んできています。老朽化した病院施設の狭い診療スペースでは、標準的な装置も導入できない状態で、新時代に対応できない状況でありました。まさに「新しい酒は新しい革袋に入れよ」の例え通りで、診療棟や病棟の整備が急務でありました。

平成16年の独立行政法人化後、国立病院機構本部や東海北陸ブロック事務所のご指導を受け、鈴鹿病院は職員一丸となって自助努力で施設整備を進めて参りました。

この外来診療棟は鉄筋コンクリート3階建て、建築面積は3,448平方メートル、延べ床面積は7,627平方メートルです。一階は外来診療部門で診察室と薬局、検査、レントゲン、医事や地域医療連携室などで、患者さんの流れなどを重視した配置にしています。二階は主として神経難病のための第一病棟(50床)と手術室および中央材料室で、三階は医局や事務室などの管理部門です。

MRIの導入やCTの更新など、機器の近代化とともに、今後、電子カルテの採用などのIT化を計り、現代にふさわしい医療・療養の場に、生まれ変わることを目指しています。もちろん、防災面の配慮も怠りなく、震度7程度の地震にも対応できるような設計であります。

平成22年5月より、中日設計株式会社による設計が始まり、敷地に土壌汚染がないことを確認した後、翌23年6月に株式会社大林組、川北電気工業株式会社、株式会社朝日工業社によって着工されました。

工事は三段階に分かれ、まず、看護師更衣棟を中央病棟の東に建築し、次いで老朽化施設を取り壊し、平成24年1月より外来診療棟の本建築に入りました。今後、25年4月まで、旧庁舎などの取り壊しや外構・駐車場整備を予定しており、当院の施設整備はほぼ完成いたします。

その結果、クリーンだけではなく美しい病院に近づけたものと自負しております。今後、鈴鹿病院は建物だけの最新化ではなく、障害者医療と地域に開かれた病院として、医療の質や内容など21世紀にふさわしい診療サービスを心がけていきます。

最後に、心を合わせて施設整備を達成した職員一同を誇りに思うとともに、日夜不断の尽力をされた、関係職員のはたらきを多と致します。

【外来診療棟概要】

- 1階 外来診療部門(外来診療室、薬剤、放射線、検査、地域医療連携室、医事係等)
- 2階 第1病棟(神経難病36床)、手術室等
- 3階 管理部門(会議室等)

鉄筋コンクリート造 地上3階
建築面積 3,448.05㎡ 床面積 7,626.79㎡

新外来診療棟完成

平成24年11月23日に
外来診療棟完成記念式典を開催しました



祝 辞

鈴鹿病院の新外来診療棟完成記念式典の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。
新外来診療棟は、神経難病病棟50床、手術、放射線部門などを有する地上3階、延べ面積約7,700㎡の建物としてこの度無事完了し、ここに開棟の記念式典を迎えることが出来ました。
本日を迎えるまで、小長谷院長をはじめ病院職員の皆様方は、大変な苦勞をされたことと存じます。これまでの努力に改めて敬意を表しますとともに、これを支えて下さった地元住民の方々や自治体をはじめ、関係の大学や近隣医療関係者の皆様方のご理解・ご支援に対して、心より厚く御礼を申し上げます。
鈴鹿病院は、「患者様本位で質の高い専門医療を提供します」との理念のもと、筋ジストロフィー、重症心身障害、神経難病といった政策医療に積極的に取り組んでおります。
今回、平成22年開棟の中央病棟に引き続き、診療機能と神経難病病棟と一体的に整備された新外来診療棟が完成し、主要建物が全面的に整備されたことにより、患者の皆様の療養環境が大幅に改善され、医療の質や機能も大きく向上します。また、地域の関係者の皆様との連携とご支援の下、地域医療の充実に大きな貢献をしていくものと大いに期待しているところです。
今後とも、国立病院機構は病院職員の皆様とともに、地域の関係者の皆様との連携の下、住民の皆様の支えとなり、我が国の医療水準の向上にも貢献していく所存です。
本日为契机に、鈴鹿病院が、更なる飛躍をされるよう、皆様方のご支援を重ねてお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

平成二十四年十一月二十三日

独立行政法人 国立病院機構
理事長 桐野 高明

新外来診療棟のご案内

外来



■ 解放感がある
外来待合



■ 院内サービスとして
売店も設置しました

11月末に外来診療棟が完成し12月3日よりスタートしています。新しい外来診療棟は、受付から診療・検査・会計・薬

局と患者さんの流れを重視した配置になっています。診察室は9室、処置室、相談室3室で、放射線科に隣接した内視鏡室が整備されています。外来診察室は、各科の特徴を活かした構造で、広いスペースをとっています。また、外来処置室も採血、健康診断時の身長・体重の測定・視力測定などもゆったりと対応させていただくことができます。

新しい外来は、玄関フロアから外来待合も広くとても解放感があり、また外来待合から外の眺めは素晴らしく、季節の移り変わりが楽しめそうです。これからも、私たち外来スタッフは、皆様に安心した診療が受けられるよう援助させていただきます。心配なこと、困ったことがありましたらいつでも声をかけてください。

第一病棟



■ 有料個室



■ 病棟中央の中庭



■ 明るい病棟

平成24年11月28日に第1病棟（神経難病病棟36床）が外来診療棟の2階に移転しました。引っ越しの時には患者さん、患者さんの御家族や職員の協力を得て、無事に引っ越しができたことを感謝しております。

新病棟は、2階で見晴らしもよく鈴鹿の山並みなど綺麗な景色が見られます。病棟の中央には中庭があり、とても明るい病棟になりました。車いす生活の患者さんが多い中、病室や廊下も広くなり車いすでの移動が容易になりました。「こんなに綺麗で、いい所に入院させてもらって嬉しいです。」と患者さんからの声が聞かれました。また鈴鹿病院では初めての有料個室が作られました。広くてとてもゆったりとしたお部屋です。

新病棟での生活はまだ始まったばかりで、患者さんもスタッフも戸惑いながらの毎日を過ごしております。患者さんが新たな病棟で、より良い療養生活が送れるように環境を整えて、看護を充実させていくことが課題であると考えています。

薬剤科



■ 大きくなった
薬局窓口



新外来棟における薬局の場所は…正面玄関からみて柱の陰なんです！ちょっとわかりにくいのですが、元気に営業しています。今までと大きく変わった点と言えば、窓口が大きくなりました。お薬の説明や相談もお話ししやすくなりました。また、専用の部屋ではありませんが、プライバシーを守れるお部屋も用意できましたので、ご希望があればそちらにてお薬相談もお受けできるようになりました。どうぞご利用ください。

医事係



正面玄関に入って少し進んでいただくと、左手に受付があります。そこが新しい医事係です。

新しい医事係は以前よりも広く、またカルテ庫もすぐ隣に配置されており、以前よりカルテを管理、準備しやすくなりました。このスペースを有効活用し、少しでも患者さんをお待たせすることがないよう、心がけていきたいと思っています。

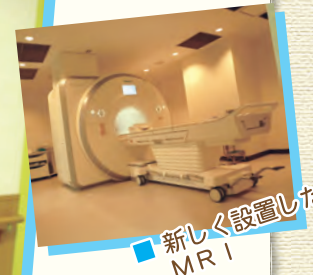
またこの新しく、明るくなった外来管理診療棟に負けないよう、医事係職員一同、明るく、元気に患者さんに接していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

放射線科

当院放射線科は新外来棟にMRIを設置いたしました。MRIは放射線を使用せず、非常に強い磁石の力を利用して画像を得ることのできる装置です。放射線を使用しないので被ばくの心配はありません。しかし、強い磁石の力を利用しているため金属類は検査の時に外して頂きます。

以前から当院にあるCT装置も新しくなっており提供できる画像情報も多くなりました。

今後も放射線科は患者さんのためにより良い画像を提供していきます。



■ 新しく設置した
MRI

臨床検査科



■ 広がった
検査室

新たな検査科は、新外来棟の1階にあります。正面玄関から進むと、ほぼ中央に緑色の窓口がありここが新しい検査科の受付となります。主な特徴は、①外来診察室に近い場所にあるため、外来診療科との連携が容易となります。②採尿提出窓口を、トイレの奥に設けたので提出時のプライバシーも配慮されています。③心電図、エコー、脳波検査等の生理検査室が、従来より広くなりました。患者様の状態によっては、ベットごと中に入ることも可能です。新しい検査科が、患者様にとってより良いものになるように検査科スタッフ一同、検体検査、生理検査を正確かつ迅速に実施していき医療の質を支えて行きます。

企画・庶務

事務部門（企画課）には大きく分けて3つの部門があります。

- ①庶務部門—職員の人事管理、給与計算、健康管理、福利厚生に関する業務を行っている部門です。病院全体の業務がスムーズに行えるようサポートし、縁の下の力持ちの気持ちで日々業務にあたっています。
- ②企画部門—病院の経理、物品購入等の契約業務を行っている部門です。病院経営の舵取り役として、収支バランスを監視しながら、ムダを省いた適正な価格での契約、積極的な投資を進めています。
- ③医事部門—患者さんの診療報酬請求、診療情報管理業務を行っている部門です。病院へ来院されるほとんどの方が、医事係の窓口を訪れます。笑顔で親切な対応を心がけ、かつ迅速で正確な業務遂行を心がけています。





図1



図2

皆さんは心不全と聞いたら、どんな病気を思い浮かべますか？やばい病気、急死する病気、治らない、末期状態……等々、おそらく多くの方はあまり良いイメージは持たれていないと思います。

では、心不全ってどんな病気なんだろう？

実は、心不全は病名ではなく「心臓の働きが十分な結果起きた体の状態」を言います。状態とはつまり症状や体の様子を表すこと。風邪をひいたときなどの発熱や咳など基本的には同じです。では、心不全を起す元の病気ってどんなものがあるのでしょうか？それは心筋梗塞や心臓弁膜症、特発性心筋症、高血圧性心臓病など非常に多くの疾患が考えられます。

さて、心不全の治し方について簡単に説明しましょう（ここでは心不全状態の一般的な治療法についてお話しするにため、原因となつての個々の病気にあつては省略いたします）。まず、心不全治療の基本的な考え方として、①心臓の収縮機能を高める②心臓にかかる負担を減らす、といった2つの方法が考えられます。

前者はおもに急性期の治療として行われます。強心薬を点滴により持続的に注入して心不全状態を改善しようという治療法です。ただしこの方法は長期間続けるとかえって心臓を悪くした馬車馬に鞭（むち）をいれる事と同じ。

一時的には元気が出るけど結局は早くバテてしまつて走れなくなつてしまします。

心不全との付き合い方

内科医 棚橋 保

つまり強心薬は鞭と同じなんですね。ゆえ、最近では慢性期で馬車馬に例えられ、荷物を減らして、餌を十分に与えながらゆっくりゆっくり登っていく方法です。

【図2】心臓の負担を減らす治療法として具体的には、利尿薬（荷物を減らす＝前負荷の軽減）、血管拡張薬（前および後負荷の軽減）、冠拡張薬（餌を十分に与える）、β遮断薬（スピードをおとす）等が挙げられます。それらを組み合わせて心臓の負担を減らしてやり心臓を長持ちさせようという訳です。そのため時として一時的に前よりも多少息切れしやすくなるということがあるかも知れませんが、循環器科の医師はそういうことも見越して心臓を守っているのです。その他にも心筋保護や心臓発作の予防のためさまざまな薬剤を使用します。心不全というのは心臓の働きだけでなく血管の緊張やホルモンのバランスなども関係しています。その病態が複雑に絡み合っているのです。その病態に対応すべく循環器の医師は数種類の異なる薬を用いてそのバランスを維持するよう治療を行います。ちょっとバランスを崩すとたちまち心不全が悪化したり、あるいは最悪の場合には死の転帰をとることもあります。それゆえ調子が良いからと言って素人判断は禁物。なんでも医師に相談しながら気長に病気を付き合っていく必要があります。

最後に、日常生活において心臓の負担を軽くするために注意すべき点をいくつか述べておきます。

過労や無理な運動は控えましょう。風邪をひいても心不全を悪化させますので日頃から健康管理が大切。睡眠を十分にとり疲れを残さないように心がけましょう。とり過ぎはもちろんだめ。塩分の摂り過ぎも体内に水分を貯留させ心臓の荷物を増やしてしまします。ので注意しましょう。ただし、寝てばかりいって逆効果。適度の運動は長い目でみるとむしろ心臓の負担を減らします。毎日のんびりと散歩することは心不全の予防にとっても良い事です。ぜひ毎日の日課として続けられる事をお勧めいたします。

地域医療連携室だより



新しい地域医療連携室は正面玄関を入っていただき、すぐ左手にあります。入院患者さんの療養上の相談や外来患者さんの医療福祉相談にも対応できる、プライバシーに配慮された設計の医療福祉相談室も併設されており、3名の医療社会事業専門員と地域医療連携係長（看護師）が配置されています。

神経難病・筋ジストロフィー・重症心身障害分野での専門医療を提供する鈴鹿病院の顔として地域医療連携室がさらに充実するよう努力してまいりますので皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

また、医療や福祉に関すること、その他どのようなことでも一人で悩まず「よく分からない」「どうしよう……？」と思われた時はお気軽にご相談に来室ください。

「医療社会事業専門員」というと、あまり聞きなれない職種だと思われる方も多いと思いますが、一般的にはケースワーカーやMSW（医療ソーシャルワーカー）と呼ばれている方々と同じような業務の役割を担っています。

医療社会事業専門員としての主たる業務は、患者さまやご家族の方からの医療や療育に関する相談や各種福祉制度についての相談・アドバイス、他関係機関との連絡調整等を行います。さらに、入院に関して他病院からの新規患者様ご紹介の相談窓口としての役割を果たし、いわば他病院や患者様からは病院の「顔」として見られることも少なくありませんので常々、緊張感を持ちながら業務に当たっています。また、本誌「鈴鹿の風」の制作にも編集者として携わらせていただいています。入職したばかりで、まだまだ不慣れなことも多いですが、一緒に考え、問題解決の糸口を一緒に探していくお手伝いをさせていただきますのでどうぞお気軽に声をお掛けください。

トピックス

第66回国立病院総合医学学会に参加



平成24年11月16日・17日に神戸国際展示場、神戸国際会議場（兵庫）にて第66回国立病院総合医学学会が開催されました。今年は『国立医療：未来と希望のきずな』をテーマとして当院からは10題の研究成果の発表を行いました。

優秀な研究発表に与えられる「ベストポスター賞」を横山尚子児童指導員が受賞しました。



平成24年度筋ジス班会議が行われました



平成24年12月12日・13日に国立病院機構本部講堂（東京）にて平成24年度班会議「筋ジストロフィー診療における医療の質の向上のための多職種協働研究班」が行われました。当院からは18名のスタッフが参加し4題の研究成果が発表され活発な討議が行われました。

第35回鈴鹿市社会福祉大会に参加

平成24年11月22日に鈴鹿市文化会館けやきホールにて第35回鈴鹿市社会福祉大会が開催されました。

本大会は永年にわたり、社会福祉の発展に功績のあった方々をたたえとともに、市民一人ひとりが「福祉の心」を育み、ぬくもりに満ちた地域社会づくりを目指して行われているもので、当日は福祉関係者を中心に約450名が参加。当院からは地域医療連携室医療社会事業専門員1名が参加しました。

特別講演では、道志真弓さんを迎え「14トリソミーとの壮絶な闘い」という演題で講演を行い、参加者らは熱心に話に聴き入っていました。

INFORMATION

難治性疾患克服研究事業「スモンに関する調査研究」（研究代表者：当院院長小長谷正明）として、スモン療養のしおり・スモン患者さんのための福祉・介護・医療サービスの有効活用と療養生活の環境整備を目的に「スモン患者さんのためのチカラになる情報」を知って役に立つミニ知識〜冊子が作成されました。

医療のほか福祉や介護など様々なサービスやサポートについて、正しく知って上手に活用していただくために医療福祉相談室にて閲覧できますのでお気軽にご来室ください。



職員の輪

（職員紹介）



中央西1階病棟 看護師 森 りさ さん

平成24年7月より鈴鹿病院に勤務しています。出身は九州・熊本県で結婚を機に三重県へ引っ越してきました。スタッフ同士笑顔があらわれはじめを持ちながらメリハリのある仕事をしたと思っています。スタッフの中には九州出身の方もおり心強いです。休日は三重県の観光名所巡りを楽しんでいます。熊本の事は何でもお尋ね下さい。よろしくお願いします。

平成オタクコンラ

神経内科部長 久留 聡

アロ野球編9

神

神

神

神

神

神

◆ 外来診察担当表 (2013年1月1日現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	小 長 谷 松 本	小 長 谷	久 留
内 科 (循 環 器 科)	安間 (第1・3・5) 棚橋 (第2・4)	木 村	安 間 (循 環 器)	安 間 (循 環 器)	棚 橋 (循 環 器)
小 児 科	予 約	予 約	予 約	予 約	予 約
整 形 外 科		田 中 (信) 午後 (装具)			田 中 (信)
リハビリテーション科					
歯 科	土 性	永 田	松 村		
皮 膚 科					

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

◆ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩8分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 三交バス(荒神山口行き/椿大神社行き)
「加佐登神社前」下車すぐ
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



◆ 編集後記

新しい年が始まりました。新外来診療棟の完成とともに広報誌「鈴鹿の風」もリニューアルをおこないました。これからも、常に初心を忘れることなく巳年の今年も「丸く・長く・しぶとく!」患者さん、ご家族さんと一緒に成長していきたいと思っています。

山方 郁広

独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel. 059-378-1321(代) Fax. 059-378-7083 <http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

平成25年1月発行